

1 需要に応える「青天の霹靂」の生産と新品種「はれわたり」の普及拡大 ～「青天の霹靂」の全生産者出荷基準達成と、新品種の本格デビューに向けて～

【概要】

- 青森県産米のトップブランド「青天の霹靂」の全生産者が出荷基準達成を目指して、良食味・高品質生産を支援した。
- 新品種「はれわたり」の普及拡大に向けて、品種特性の把握と生産者への周知を図った。

【背景・課題】

- 「青天の霹靂」は、実需者や消費者から高い評価を得ており、また、安定した米価が支持され、5年産は過去最大の作付面積となった。作付面積が増加する中、ブランド価値を維持するために、全生産者の高品質・安定生産を図る必要がある。
- 5年産米が全国デビューを迎える新品種「はれわたり」は、生産者への品種特性の周知と、県外生協との取引がある生産部会に対して品種切替えに向けた支援が必要である。

【普及指導活動の内容】

- 中南地域「青天の霹靂」・「はれわたり」生産指導プロジェクトチーム（以下PT）では、連絡会議の開催、各品種の生育観測ほの設置、講習会等の開催により、関係機関や生産者と情報共有を図った。
- 4年産「青天の霹靂」出荷基準未達成者に対し、「青天ナビ」を活用した作付ほの確認、適切な肥培管理や適期刈取りについて指導した。
- 「はれわたり」の講習会等を通じて、生産部会に対し品種特性の周知に努めた。また、初期生育確保のための育苗資材に係る試験ほを1か所設置し、調査結果をまとめ、部会に提供した。

【成果】

- 「青天の霹靂」の出荷基準達成率は昨年を0.7ポイント上回る99.3%、単収は昨年を0.2俵上回る8.9俵と、おおむね目標に到達した。
- 講習会等で「はれわたり」の良食味等の品種特性が理解され、6年産の管内の作付面積は約1,900haと昨年より大幅に増加する見込みとなった。
- 6年産の生産に向けて、PT連絡会議において夏季高温下での技術対策をまとめ、指導方針を確認した。

【対象名】

- 中南管内「青天の霹靂」作付経営体（414経営体）
- 新品種「はれわたり」作付農家（275人）
- J A津軽みらいときわ良質米生産部会（213人）



適期追肥講習会（7/5）



適期刈取講習会（8/31）



第7回連絡会議（2/6）

2 水田への高収益作物（にんにく）の作付推進

～スマート農業による軽労化と、新品種「青森福雪」のデビューに向けて～

【概要】

- ほ場整備地区における高収益作物としてにんにくの作付拡大により、効率的な営農・経営の達成を目指した。
- 新品種「青森福雪」の普及拡大に向けて、品種特性の把握と生産者への周知を図った。

【背景・課題】

- 中南地域はりんごと稲作主体の農業構造となっており、平地は水田地帯であるが、収益性の高い野菜等の作付は労働力不足等から近年、減少傾向にある。
- 管内では各地区ではほ場整備が進められており、ほ場整備実施地区では、農業者の収益確保のため高収益作物の導入が求められている。
- ほ場整備地区等において、にんにく及び転作野菜の作付推進に取り組む必要がある。

【普及指導活動の内容】

- 野菜の安定生産に向け、栽培講習会や巡回等により栽培指導を行った。
- また、県育成のにんにく新品種「青森福雪」の実証ほを設置し、品種展示及び特性把握に努めた。
- 軽労化や省力化に向けたスマート農業研修会を開催した。
- ほ場整備地区（三省地区）での生育状況の把握と栽培指導を行った。
- にんにくのさび病が多発したため、部会に対して初期防除の重要性を周知し、防除技術の理解に努めた。

【成果】

- ほ場整備地区（三省地区）でのにんにく新規作付けが50a開始された。
- 令和5年9月に新品種「青森福雪」実証ほをJA津軽みらいとJAつがる弘前管内に設置した。
- スマート農業への理解が高まり、アシストスーツによる軽労化とドローン散布による時短効果を周知できた。

【対象名】

- JA津軽みらいときわにんにく部会（107人）
- JAつがる弘前にんにく部会（57人）
- ほ場整備地区農業者



三省地区での営農状況（9/12）



スマート農業研修会（6/4）



ドローンによる薬剤散布（6/4）

3 中南型りんご高密度植わい化栽培の導入推進

～1年生ノンフェザー苗を利用した高密度植わい化栽培の導入推進支援～

【概要】

- 本県のりんご高密度植わい化栽培技術確立に向け、現地モデル園を設置し栽培管理等の調査を行った。
- 栽培技術の早期普及に向け、関係機関・団体と連携し研究会を発足させ、栽培技術研修会等を開催して、情報共有を図った。

【背景・課題】

- 高密度植わい化栽培の円滑な導入を支援するため、高品質安定生産技術の確立と早期普及を図る必要がある。
- 苗木不足の解消に向けた1年生ノンフェザー苗での高密度植わい化栽培の技術を実証する必要がある。

【普及指導活動の内容】

- りんご研究所及び現地にモデル園を設置し、栽培管理等の調査を行った。
- 関係機関を構成員とする「中南地域高密度植わい化栽培推進研究会」を発足させ、高密度植わい化栽培導入者への支援体制の強化と栽培管理等の情報共有を図った。
- 高密度植わい化栽培の先進地である長野県に視察を行い、最新情報を収集した。

【成果】

- 「中南地域高密度植わい化栽培推進研究会」を2回開催し、現地モデル園の調査結果等の報告や次年度計画について検討した。
- 生産者及び指導者向け栽培技術研修会を3回開催し、高密度植わい化栽培の県内外の試験状況や1年生ノンフェザー苗の夏場の栽培管理等を情報共有した。
- 長野県の3園地を視察し、最新情報を入手するとともに、マニュアルの必要性を再確認した。

【対象者】

- 平川市密植栽培研究会（38人）
- 中南管内のりんご高密度植わい化栽培生産者（46人・法人）
- 導入予定生産者



1年生ノンフェザー苗の現地モデル園



栽培技術研修会



先進地視察研修（長野県）

4 中南地域の果樹経営に適した特産果樹の生産拡大

～シャインマスカット・ジュノハートの高品質果実生産の推進～

【概要】

- 関係機関・団体と連携して、ぶどう「シャインマスカット」及びおうとう「ジュノハート」の基本的生産技術の習得等に向けた活動を行い、高品質果実の安定生産を図った。

【背景・課題】

- 近年、シャインマスカットの新規作付者が増加しているため、無核処理等の基本技術の普及が急務である。
- ジュノハートは県がブランド化を進めているため、県のブランド化推進協議会が設定した品質基準や出荷規格を周知徹底し、高品質大玉生産を推進する必要がある。

【普及指導活動の内容】

- シャインマスカットは、講習会や巡回により基本技術の周知を図った。また、優良園地での初期生育について調査し、結果を指導の参考とした。さらに、生産販売情報連絡会議を開催し、生産・販売状況や今後の課題等について関係機関と情報交換し、果実品質の向上に向けた意識を統一した。
- ジュノハートは、生育観測ほを設置して生育ステージや着果状況を確認するとともに、農協等と連携して目揃い会や個別指導で生産者に出荷を呼びかけた。

【成果】

- シャインマスカットは、開花時期が揃わず無核処理時期の見極めが難しかったことや、開花期の強風等により形状が不良な果房（バラ房）が目立ったことなどから、出荷量は前年の45トンから43.8トンに減少したものの、令和4年度までは順調に増加してきている。
- ジュノハートは、適期収穫と出荷規格の徹底を生産者に強く呼びかけながら出荷を促したところ、7人の登録生産者が出荷し、出荷量は前年の64kgから128kgに増加した。

【対象名】

- 弘果シャインマスカット作付者(293人)
- J Aぶどう生産者協議会
(中南地区97人)
- おうとう「ジュノハート」ブランド化
推進協議会登録生産者 (18人)



シャインマスカット現地講習会



シャインマスカットの果実品質調査



「ジュノハート」結実状況

5 多様な農業・地域活動にチャレンジする女性農業者の育成 ～地域活性化に向けた女性農業者の新たな取組への支援～

【概要】

- 地域の活性化を図るため、女性起業家等を対象にセミナー開催や個別指導を行ったほか、「農のふれカフェ」実践者を対象に情報交換会等を行った。また、女性起業組織の地域共生社会の実現に向けた活動について支援した。

【背景・課題】

- 女性起業家は、新商品開発や新たなサービスの提供等による取組拡大が課題となっている。
- 女性起業家の高齢化に伴う後継者育成や事業継承、若手女性農業者の起業開始に向けた支援等により、起業活動に取り組む女性農業者を育成する必要がある。

【普及指導活動の内容】

- 農産加工や農家民宿、カフェ運営等の充実強化、りんごセミドライの技術習得、事業や技術の継承などに向けたセミナーを開催したほか、新商品開発や新たな起業化に向けて個別に支援した。
- 「農のふれカフェ」の体験メニューの開発等に向けて、情報交換会や研修の開催、個別巡回を行い、実践に向けた支援を行った。
- 女性起業組織による地域の「食」を活かした地域課題解決の取組を支援した。

【成果】

- 新たに加工品3品が商品化され、直売所等での販売を開始したほか、農産加工や販売に取り組む若手女性農業者を新たに3人掘り起こした。
- 本格的な起業を目指す若手女性1人が補助事業を活用し、委託加工による加工品開発に取り組み、試験販売を開始した。
- 女性起業組織1組織が高齢者と地域住民との交流の場づくりに取り組み、高齢者支援活動の意欲が向上した。

【対象者】

女性起業家（48人・組織）
起業活動に関心のある女性農業者（20人）
「農のふれカフェ」実践者（11人）



りんごセミドライの加工実習



りんご加工品をPRする若手女性



女性起業組織が開催した
高齢者と地域住民との交流会